

富山経協



キレンゲショウマ (解説・18ページ)

CONTENTS

- 2 第79回定時総会 (報告)
- 4 講演会 (要旨) 「《未来人材ビジョン》を読み解く」
- 6 理事就任のご挨拶
- 7 理事会 (報告)
- 8 調査報告
 - 2024年春季賃金改定状況調査〈最終集計〉
- 10 Top Interview
 - コージン 小柴雅信社長
- 12 人事労務管理INFORMATION
- 13 事業活動報告
- 13 委員会活動
- 14 講座・セミナー
- 14 参加者NOTES
- 18 会員の動き
- 18 新会員の紹介
- 19 労働指標
- 20 おしらせ・事業予定

第79回 定時総会

一般社団法人富山県経営者協会の第79回定時総会は5月23日(木)、富山国際会議場2階で、会員総数456社中、出席124社、委任状提出29社、議決権行使283社の計436社により開催した。

定刻に至り、開会を宣言し、本定時総会が有効に成立している旨を報告し、定款第15条により山下会長が議長となり、6件の議案について審議し、いずれも異議なく満場一致で承認された。(議事内容は2～3頁に掲載)

また、議事に先立ち山下会長より、今年の総会以降に叙勲・褒章を受章された方の紹介があり、褒章受章者の中沖雄氏(株)富山銀行代表取締役頭取)が紹介された。



講演会

総会終了後、同会議場3階メインホールで、(株)インサイトパワーズ代表取締役 辻本光邦氏から『《未来人材ビジョン》を読み解く～これからの人材育成への指針と施策～』と題して講演をいただいた。(講演要旨は4～5頁掲載)

懇親会



懇親会は、ANAクラウンプラザホテル富山・鳳の間で開催した。

開会にあたり、山下会長が本日の開催への思いを述べた後、「最近、過去最高の賃上げという言葉を目にする。労働側も経営側も賃上げに関しては意見の相違がなく、企業規模に関わらない持続的な価格転嫁で原資をつくる必要がある」とし、また、慢性的な人材不足には、産業雇用安定センターの『キャリア人材バンク』の制度を紹介し、「今後も富山県の経済、ひいては日本経済の成長の一助になるような活動をしていきたい」と挨拶した。

来賓を代表して蔵堀副知事から祝辞をいただいた。その後、谷川副会長の発声で乾杯を行い、和やかな懇談が進み、品川副会長の中締めをもって終了した。



山下会長



蔵堀副知事



谷川副会長



品川副会長

定時総会 - 議事

第1号議案 2023年度事業報告の件

定時総会は、5月25日に開催し、2022年度事業報告と財務諸表、県に提出する公益目的支出計画実施報告、2023年度事業計画と損益予算、理事の選任について審議し承認された。理事会は書面理事会を含め、8回開催した。事業推進機関会議は、3月8日に会長・副会長会議、幹事会を開催した。会員懇談会は、7月に西部地区、9月に富山地区、11月に東部地区と3回開催した。広報調査活動は、機関誌を7回発行した。

調査活動は、定期調査を7回、経営課題調査を2回実施した。講座・セミナーは56回開催し、1,765名が参加した。

第2号議案 2023年度財務諸表承認の件

・貸借対照表	
(資産の部)	
流動資産	145,066,166円
固定資産	3,929,347円
資産合計	148,995,513円

(負債の部)	
流動負債	7,916,351円
固定負債	1,391,750円
負債合計	9,308,101円

・正味財産増減計算書

(一般正味財産増減の部)	
経常収益計	111,642,667円
経常費用計	116,459,414円
経常増減額	△4,816,747円

(経常外増減の部)	
経常外収益	0円
経常外費用	0円
経常外増減額	0円

一般正味財産増減額 △4,816,747円

一般正味財産期末残高 139,687,412円

第3号議案 公益目的支出計画実施報告の件

公益目的財産額の確定額171,314,841円を19年間でゼロ円とする公益目的支出計画に基づき、今年度支出計画収支差額△9,345,000円に対して、実績は△10,436,446円となった。

第1号議案、第2号議案、第3号議案に関し、監事の山地清氏（富山信用金庫理事長）から「その内容は正確かつ妥当」との監査報告が行われた。

以上、3議案について、異議なく満場一致で承認された。

第4号議案 2024年度事業計画（案）審議の件

〔2024年度事業方針〕

我が国経済は、長引くウクライナ戦争や新たに勃発した中東での紛争、隣国中国の経済成長の鈍化など不安定な国際情勢や円安基調を背景に、上昇傾向にある物価動向への対応、また、少子高齢化に伴う労働力人口減少による慢性的な人手不足や環境問題への対応など企業を取り巻く状況は引き続き厳しい。特に長きにわたる「デフレからの脱却」と「安定的かつ持続的な経済成長」への重要局面をむかえ、職場環境の整備、多様な働き方、多様な人財の活用をさらに推進することで働く人が魅力を感じる、持続可能な企業体の構築が急がれます。このような時にこそ、富山県経営者協会が長年「企業と人」にフォーカスしてきた事業活動が、ますます重要になっており、富山で事業を営む経営者で構成する民間経済団体として、あるべき姿を自覚し、新たな行動をすることにより、存在価値を高めていく。そのために多様化する会員ニーズに対応した経営課題の研究と広報、労働生産性の向上、会員企業で働くすべての社員の能力向上を目的とする研修・セミナー等、事業活動を進め会員サービスの向上につなげていく。

1. 企業経営に必要なタイムリーな情報の収集と提供

- (1) 経営課題に関する調査研究と情報発信を行う。
- (2) 会員に必要な情報収集と発信を行う。

(3) 人事労務、環境経営、人材育成に関する相談活動の充実を図る。

2. 「企業と人」にフォーカスした委員会活動の推進

- (1) 委員会の役割・目的を明確にし、タイムリーな研究・情報発信を行う。
- (2) あらゆる業種・階層に応じた人材育成の研修・セミナーを企画・実施する。
- (3) 『人的資本経営による企業価値向上』をテーマに研究・情報発信を行う。

3. 事業活動とサービスの幅を広げた会員相互の交流機会の支援

- (1) 総会、幹事会、地区懇談会を開催する。
- (2) 会員企業の見学会とビジネス交流の機会を提供・支援する。
- (3) 多様な交流機会を提供する。

4. 会員ニーズに沿った事業活動とサービスの提供

- (1) 会員訪問活動を強化し、要望やニーズを踏まえた事業活動を実施する。
- (2) 研修・セミナーは実施後評価を踏まえて、スクラップ&ビルドを行う。
- (3) 企業の「稼ぐ力」に繋がる「人への投資」「労働生産性の向上」等、先進的事例のセミナーを開催する。

5. 民間経済団体として機能発揮と地域社会発展への貢献

- (1) 会員状況把握、政策提言・要望活動を実施する。
- (2) 行政との連携と相互事業を実施する。
- (3) 経団連・他団体との情報連携を図る。

第5号議案 2024年度損益予算（案）審議の件

・損益予算書

(一般正味財産増減の部)	
経常収益計	113,106,000円
経常費用計	116,126,000円
経常増減額計	△3,020,000円
(経常外増減の部)	
経常外収益計	0円
経常外費用計	0円
経常外増減額計	0円
一般正味財産増減額	△3,020,000円

以上、2議案について、異議なく満場一致で承認された。

第6号議案 理事選任の件

＜理事候補者＞〔新任〕

水谷 和久 北陸電気工事株式会社 代表取締役会長

小林 聖子 YKK株式会社 副社長 黒部事務所長

高田 和夫 トナミ運輸株式会社 代表取締役社長

以上、異議なく満場一致で承認された。

閉会 以上をもって、総会の議案はすべて異議なく満場一致で承認・決定され、15時40分に第79回定時総会を終了した。

理事就任のご挨拶



北陸電気工事株式会社
代表取締役会長

水谷 和久

この度、当協会の理事にご選任いただき、ありがとうございます。昨年7月から当協会の総務交流委員長を仰せつかっておりますが、今回、重責を賜りましたことを大変誇りに思う次第であります。

さて、最近の経済情勢につきましては、コロナ禍の3年間を乗り越えて改善しつつありますが、個人消費は力強さを欠いており、これを回復するため、物価上昇を賃金に反映させることによる賃金の持続的な上昇や、価格転嫁の広がりが求められております。また、令和6年能登半島地震の発生によって被害を受けたインフラの整備など復旧活動や、復興への取り組みが必要となっております。

富山県が発表した4月1日時点の県内の推計人口は、100万人を割り込みました。想定を上回るペースで人口減少が進んでいることについて県は、全国的な少子化に加えて、富山県では若い女性の県外への転出が多いことなどが要因と分析しています。

企業経営者としては、女性が働きやすい環境をつくるため、男性・女性を問わず長時間労働を是正し、育児休業の取得率を高めるなどの取り組みを一層進めていくことが必要です。また、女性が仕事を通じた成長が実感できるよう、性別による役割分担を解消し、女性管理職の比率を高めることも必要です。

当協会の活動を通じ、人口減少や労働力不足といった課題に貢献していかなければならないと考えております。会員企業の皆さまのご指導・ご協力を頂戴しながら、お役に立てるよう取り組んでまいりますので何卒よろしくお願い申し上げます。

略歴 1961年生まれ。京都大学法学部卒業後、1984年北陸電力(株)入社。2015年執行役員石川支店長、2018年取締役常務執行役員、2020年代表取締役副社長、2023年6月から北陸電気工事(株)代表取締役会長。



Y K K株式会社
副社長 黒部事業所長

小林 聖子

この度は、当協会の理事にご選任いただき誠にありがとうございます。大変光栄に存じておりますとともに、会員の皆様から期待される役割を考え、その重責に身の引きしまる思いでございます。

昨今の日本経済に目を向けますと、コロナ禍の収束に伴い経済社会活動の正常化が進み、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の増加などもあり、緩やかな回復基調で推移しているとは言え、ロシア・ウクライナ情勢の長期化、中東情勢の不安定化、世界経済の下振れリスク、為替変動の影響等が懸念されるなど、先行き不透明な経済環境はなおも続いております。

このような状況下において、弊社Y K K株式会社は本年元旦に創業90年の節目を向かえることができました。これもひとえに富山県内企業皆様のお力添えのお陰と心より感謝申し上げます。

その御恩返しができますように、当協会の基本理念である「創造的で活力のある企業経営の実現」と「地域社会の発展に貢献」のために、長年のテーマである「企業と人」にフォーカスした事業活動に参画することで、微力ながら理事としてお役に立てるよう努めてまいりたいと存じますので、今後ともご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願いいたします。

略歴 1964年生まれ。武蔵野女子大学卒業。1988年吉田工業(株) (現Y K K(株)) 入社、2000年米国赴任、2016年執行役員総務部長、2024年4月から副社長 黒部事業所長。



トナミ運輸株式会社
代表取締役社長

高田 和夫

このたび、当協会の理事に選任いただき、誠に光栄に存じます。このような貴重な機会を与えていただき感謝申し上げますとともに、その責任の重さに身の引き締まる思いであります。

さて、新型コロナウイルス感染症の流行は、人々のライフスタイル、企業活動、社会情勢に大きな影響と変化をもたらしました。加えて、日本や世界の様々な情勢が不確実な時代を引き起こしているとも言われ、全ての企業が不確実性の高まる社会の中で存在価値を見出していくことが求められています。

また、地球温暖化による異常気象が頻繁に発生し、大きな災害をもたらしています。

企業は「SDGs」の実現に向けて、「安全な社会づくり」「環境保全」「地域社会への貢献」等について積極的に取り組み、地球温暖化防止のための気候変動対策や人的資本・多様性へ対応する「サステナビリティ」への取り組みを強化しなければなりません。

当協会は長年「企業と人」にフォーカスを当て取り組まれており、まさにその重要性が高まっているように思います。

会員の皆様とともに様々な経営課題の解決に取り組む、微力ながら精一杯お役に立てるよう尽力してまいりますので、皆様にはご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

略歴 1956年生まれ。1983年トナミ運輸(株)入社。2007年取締役財務部長、2011年常務人事管理本部長、2017年専務経営企画本部長。トナミホールディングス(株)では2008年取締役、2017年専務。2023年1月から両社の代表取締役社長。

理事会

4月理事会



4月17日(水)16時00分から、山下会長はじめ理事総数11名中8名、監事総数4名中2名が出席して、4月理事会を富山経協・研修室で開催した。

山下会長の挨拶のあと、①総会付議案件審議の件、②「TOYAMATCH運営事業」の受託、③「現場の技術・技能伝承支援事業」の受託、④新会員承認の件について審議し、全員異議なく承認された。

5月理事会



5月23日(木)16時45分から、山下会長はじめ理事総数12名中10名、監事総数4名中4名が出席して、5月理事会を富山国際会議場2階205会議室で開催した。

①役員人事(案)の件について審議し、全員異議なく承認された。

2024年春季賃金改定状況調査

県内企業の賃金改定状況〈最終集計〉

140社加重平均12,395円、改定率4.39%

当協会は、「2024年春季賃金改定状況調査（加重平均）」の最終集計を取りまとめた。（表1）

県内企業から寄せられた集計可能な回答140社の改定額平均は12,395円、改定率4.39%で、昨年の最終集計結果（8,893円、3.26%）と比べると、改定額は3,502円、改定率は1.13%増加となった。

業種別にみると、製造業76社の改定額平均は13,078円、改定率は4.65%で、昨年（9,349円、3.42%）と比べると、改定額は3,729円、改定率は1.23%増加した。非製造業64社の改定額平均は10,916円、改定率は3.83%で、昨年（7,845円、2.88%）と比べると、改定額は3,071円、改定率は0.95%増加した。

（表1）2024年 春季賃金改定状況調査結果（加重平均）

〔最終集計－2024年6月6日現在〕

（一社）富山県経営者協会

	2024年			2023年			
	社数(社)	改定額(円)	改定率(%)	社数(社)	改定額(円)	改定率(%)	
製造業	食料品・飲料	2	6,005	2.51	5	5,857	2.60
	繊維	3	14,614	4.76	3	10,188	3.31
	木材・パルプ・紙	2	7,864	3.10	4	6,231	2.44
	印刷	2	6,708	2.99	2	3,632	1.62
	化学	16	13,655	4.79	10	8,845	3.25
	プラスチック・ゴム	6	10,041	3.97	4	6,894	2.83
	鉄鋼・非鉄金属	5	20,303	6.49	4	6,539	2.09
	金属製品	9	8,434	3.09	11	6,854	2.56
	汎用・生産機械器具	16	16,214	5.59	15	13,470	4.71
	電子・電気機械器具	8	13,416	4.93	8	9,094	3.40
	輸送用機械器具	4	12,868	4.95	4	9,596	3.78
	その他製造業	3	4,875	1.90	3	4,856	2.12
製造業平均	76	13,078 (11,386)	4.65 (4.18)	73	9,349 (7,857)	3.42 (3.01)	
非製造業	建設	13	10,820	3.81	15	7,370	2.70
	電気・ガス	2	9,913	3.42	2	5,720	2.11
	情報通信	9	12,552	4.38	10	10,620	3.77
	運輸	13	8,566	3.55	12	5,099	2.14
	卸・小売	13	10,585	4.07	12	8,041	3.09
	金融・保険	2	16,347	4.43	1	—	—
	宿泊・飲食・生活関連	2	7,140	3.08	1	—	—
	学術・専門・技術サービス	4	9,343	3.05	3	4,240	1.58
	教育・医療・福祉	3	5,349	1.89	2	4,332	1.96
その他非製造業	3	7,554	3.47	4	8,491	3.59	
非製造業平均	64	10,916 (9,425)	3.83 (3.46)	62	7,845 (6,938)	2.88 (2.62)	
総平均	140	12,395 (10,489)	4.39 (3.85)	135	8,893 (7,435)	3.26 (2.83)	
規模別	全従業員100人未満	36	6,996 (7,222)	2.61 (2.80)	36	6,372 (5,944)	2.43 (2.36)
	全従業員100人以上 ～300人未満	48	10,520 (10,436)	3.81 (3.85)	49	7,313 (7,250)	2.80 (2.81)
	全従業員300人以上	56	13,053 (12,635)	4.60 (4.53)	50	9,402 (8,690)	3.41 (3.19)

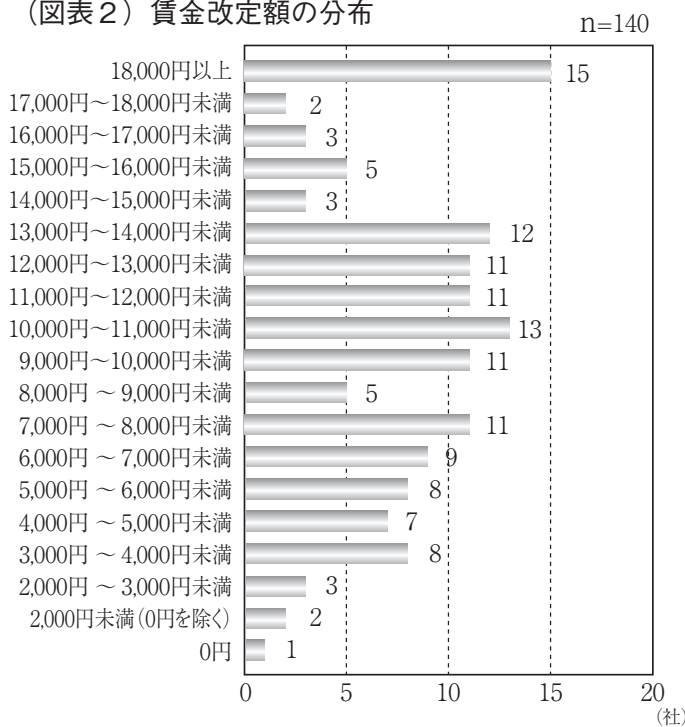
（注）① 調査対象456社のうち、集計可能な回答のあった140社の数値である。 ② 平均欄の上段は加重平均、下段の（ ）内は単純平均である。 ③ 当該業種1社だけの回答の場合は数字を伏せているが、平均には含む。 ④ 加重平均は県内組合員数または県内従業員数で算出。

規模別にみると、全従業員100人未満36社の改定額平均は6,996円、改定率は2.61%、全従業員100人以上300人未満48社の改定額平均は10,520円、改定率は3.81%、全従業員300人以上56社の改定額平均は13,053円、改定率は4.60%となり、企業規模での格差が鮮明となった。

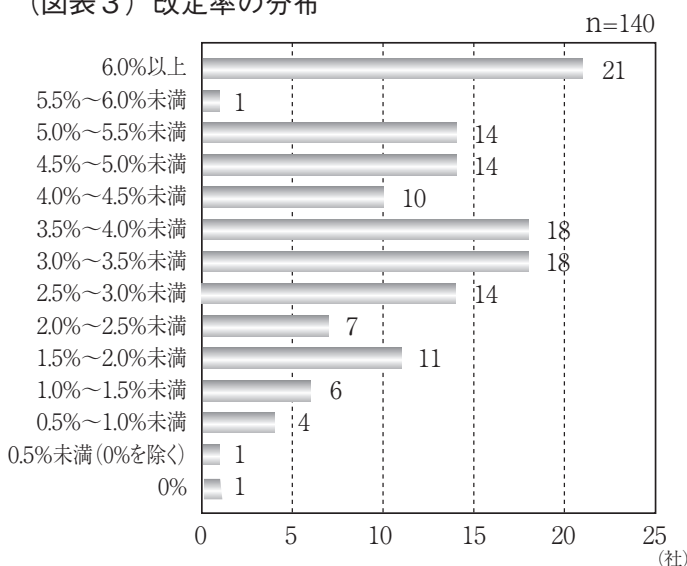
改定額の分布では、「18,000円以上」が15社で最も多く、次いで「10,000円以上11,000円未満」が13社、「13,000円以上14,000円未満」が12社であった。(図表2)

改定率の分布では、「6.0%以上」が21社で最も多く、次いで「3.0%以上3.5%未満」と「3.5%以上4.0%未満」がそれぞれ18社であった。(図表3)

(図表2) 賃金改定額の分布



(図表3) 改定率の分布

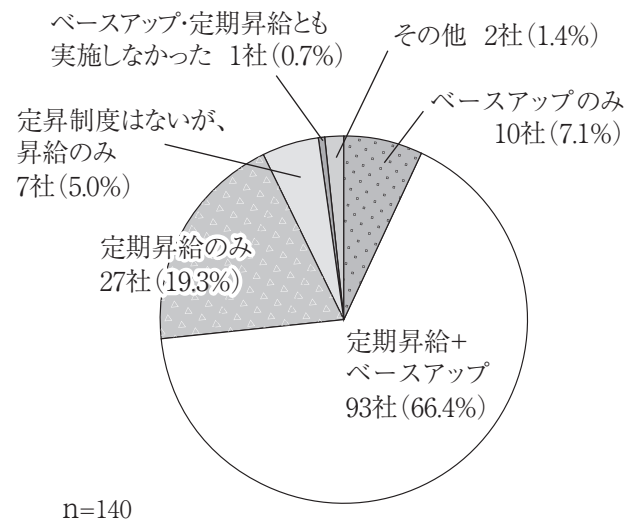


%未満」がそれぞれ18社であった。(図表3)

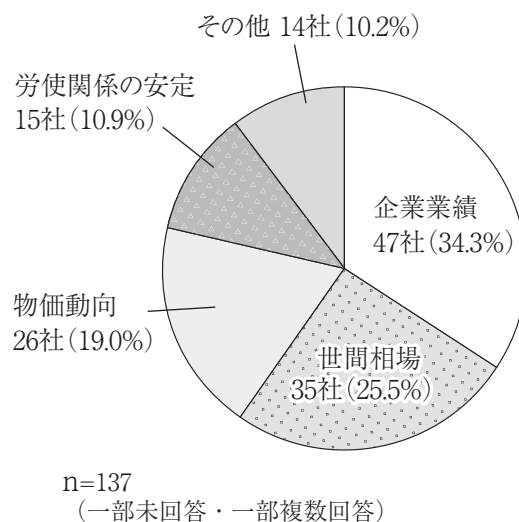
改定の実施内容では、「定期昇給とベースアップを実施した」企業が93社(66.4%)で最も多く、次いで「定期昇給のみ実施した」企業が27社(19.3%)、「ベースアップのみ実施した」企業が10社(7.1%)となっている。(図表4)

賃金を改定するにあたり最も重視した要素では、「企業業績」を挙げる企業が47社(34.3%)で最も多く、次いで「世間相場」が35社(25.5%)、「物価上昇」が26社(19.0%)となっている。(図表5)

(図表4) 賃金改定の実施内容



(図表5) 賃金改定に際して最も重視した要素



「プラスチック+α」で 新たな価値創造 インサート成形のパイオニア

株式会社コージン
代表取締役社長

小柴 雅信 氏



1974年の設立から50周年を迎えられました。どのような歩みだったのでしょうか。

祖父の小柴清次がプラスチック成形の工場を譲り受け、宏仁樹脂工業を始めました。社名には「仁義・人徳を広く集める」意味を込めました。ファスナーや日用品、サッシの留め具などを作り、電子部品の組み立てにも乗り出して従業員も増えていった矢先、取引先

の事業再編に伴い仕事が激減しました。1984年の暮れに売上の8割以上がなくなってしまい、和議申請を申し立てることになりました。

父が新たに社長に就き、再建を目指して営業に走り回りますが、一旦信頼を失った中で大変苦労したと聞いています。そのような時、最新の工場設備を見せてもらう機会があり、他社がやっていないことに取り組んでいかないとイケな

いと感じたといいます。

－挑戦と感謝を忘れず－

わずか10年で苦難の再出発です。

粘り強い営業活動の中で、大手電機メーカーの担当者から新規事業に関する図面を見せてもらうことができました。現在の主力製品のモジュールケースの前身になる「端子ブロック」というもので、プラスチックの中に金属端子が埋め込まれている部品です。当時は工法も確立されておらず、さらに当社は金属加工をやったことがない、使用する樹脂も新しい材料という難題でしたが、父は挑戦し、機械メーカーと一緒にインサート成形法を確立しました。

新しい製品だったので、色々な会社も紹介していただき、当社の経営の基盤になっています。さらに自動車にも搭載される電子制御部品も増えていきました。

現在、インバーターやコンバーターなどの「産業用パワーモジュール」、「自動車向けの機構部品」、「再生エネルギー向け部品」の3本を事業の柱としており、売上比率はほぼ3分の1ずつです。

海外にも進出されています。

2003年にインドネシアに工場を建設しました。上市の工場が手狭になり増築を考えていましたが、インドネシアからの技能実習生が「帰国後の仕事がない」というので、現地に建てることにしました。建設費も人件費も安く、実習生の技術もそのまま生かせ、現在、その実習生が工場長を務めています。

2016年に設立したタイの子会社は商社ですが、帰国したタイ人の実習生がエンジニアとして活躍しています。中国ではEV分野の拡大を目指して2019年に現地の樹脂

会社と合併会社を設立しました。
社長に就かれたのは2006年、32歳の時でいらっしゃいます。

インドネシアの工場竣工を前に父が急逝し、經理をしていた母(順子現会長)が社長に就きました。取引先へ私も同行していると、後継者としての覚悟を確かめられていると感じ、就任しました。

とにかく経営を安定させることを考え、社員や取引先の経営者から色々な話を聞いては取り入れ、若い時は考えが二転三転するので、社員とよくぶつかりました。現場でも細かく言っていました。このままでは「小柴商店」だと思い、現場のチェックは各部署の部長に任せて、報告を上げてもらうようにしました。営業や經理なども社員に任せ、会社としての体制を整えました。

一方で、会社のことや私の考えは社員に伝えるようにしています。儲かっている時は何が調子が良く、目標に対してボーナスをどの位考えているか、赤字の時も何が原因でどんな見通しを持っているのかを伝えるようにしています。

毎年6月に決算報告と合わせて経営指針を発表してきましたが、数年前からは毎月30分の業績報告会を、3つの部署ごとに実施しています。社会情勢やお客様の状況を踏まえて、当社の製品がどのよ

うに使われているのかなどを社員に共有しています。

毎月、全社員に状況を意識させることは重要なことです。社員教育はどうされていますか。

現在の本社工場を建てる前は雑然としたいわゆる町工場でした。2008年に今の本社に新築移転したのをきっかけに、ピカピカの工場にしようと整理整頓を徹底しました。幸か不幸か同時期にリーマンショックが起きて仕事がなくなったので、社員と一緒に東大阪の工場を見学し、5S活動を始めました。10年前からはQCサークルにも取り組み、毎年社内発表会を開き、その1組が今年、北陸ブロック大会に出場します。

今では社員が自発的に整理整頓や安全の工夫をしており、各所にメッセージや注意書きなどが貼ってあります。

社是や経営理念はご自身が作られたものでしょうか。

「挑戦・飛躍」の社是は父が作りました。会社存続をかけて挑戦した強い思いが込められています。「たくさんの人たちが集まる会社にしよう!」という理念は私が作りました。一度経営破綻しながらも取り引きを続けてくれた仕入先様、発注してくれたお客様、そして社長だった父が亡くなった後も事業を継続できたのは、社員一人

ひとりのお陰です。関係する全ての人への感謝の思いを込め、「『プラスチック+a』の事業を通じて人が育つ場をつくり、仲間とお客様の笑顔を集める」という事業ビジョンも策定しました。

—社員のやりがい会社の成長—

今後の展望をお聞かせ下さい。

自動車分野では成長するEV市場を視野にDX化を進め、付加価値を高める技術の向上を図ります。省人化、自動化やカーボンニュートラルなどの分野でも、当社の製品が貢献できる場面が増えていくと考えています。社員にとっても、自分の仕事が社会の役に立っていると実感できる会社でありたいと思っています。

これまでは経営の安定を最優先に安全教育や職種研修などに力を入れてきましたが、社員一人ひとりに対して会社がどのような成長を期待しているかということが伝わっていなかったと反省しています。これからは数字だけでなく、どんな会社を目指すのかをきちんと示し、社員のやりがいが会社の活性化につながるような研修制度の導入や会社の仕組みづくりに取り組もうと準備しているところです。

会社概要

株式会社コージン

設立：1974(昭和49)年2月
所在地：上市町森尻5番地
資本金：8,350万円
事業内容：プラスチック成形品・プレス加工品の製造販売、金型の設計・製作
従業員数：168名(2024年4月現在)
売上高：42億8,000万円(2023年6月期)
関連会社：PT.KOJIN INDONESIA(インドネシア)、KOJIN Trading(タイ)、蕪湖福賽宏仁精密電子有限公司(中国)
U R L : <https://www.kojin.co.jp/>



毎日の清掃が行き届き、整然と機械が並ぶ本社工場

略歴

1973年6月上市町生まれ。青山学院大学卒。商社勤務を経て、2000年(株)コージンに入社。2003年取締役、2006年から代表取締役社長。

「人事・労務出前相談室」開設のご案内（初回無料） 「人事・労務相談室」リニューアル

富山経協では、これまで会員企業の皆さまを対象に、人事・労務に関するご相談をお受けする「人事・労務相談室」を協会内事務所において、開催してきました。

会員企業の皆さまのより一層の利便性向上を図るため、今年7月16日(火)より、社会保険労務士が会員企業事務所に訪問して、ご相談をお受けする「人事・労務出前相談室」として、リニューアルすることと致しました。

社会保険労務士が貴社の労務管理の諸問題や、人事制度、社内制度・規則の新設、変更など課題解決のためのアドバイス・支援をいたしますので、お気軽にお申込み下さい。

■ 担 当

社会保険労務士 島崎裕美子 氏（島崎裕美子社会保険労務士事務所）

■ 実施場所

会員企業事務所内 会議室 ※富山経協事務所内でのご相談をご希望の方は申し出て下さい。

■ 相談時間

1時間30分以内

■ 料 金

初回無料 ※同相談内容について、継続して相談したい場合の料金については、担当する島崎裕美子社会保険労務士にご相談下さい。

■ 申込方法

- ①当協会ホームページトップページ「お知らせ」に掲載の「相談申込書」をダウンロード後、相談内容を記載頂き、FAXまたはEメール（roumu-soudan@toyama-keikyo.jp）でお申し込み下さい。
- ②希望相談日については、「申込日」の1カ月後からの日付でお願いします。また、第三希望までご記入下さい。
- ③申込み受付後、速やかに相談日時を調整して、ご連絡いたします。なお、申込み多数の場合は、先着順とします。（ご希望日にお応えできない場合があることをご了承下さい。）

■ 相談事例

- ①働き方改革に伴う、社内制度はどのように整備すればいいか。
- ②法改正等に伴う社内規則や規程はどのようにすればいいのか。
- ③労働問題が起きてしまった。どのように対応すればいいのか。
- ④メンタルの問題が起きてしまった。どのように対処すればいいのか。
- ⑤ハラスメントが起きない体制づくりをしたい。 など

お問合せ先

（一社）富山県経営者協会（安田）
〒930-0856 富山市牛島新町5番5号（タワー111ビル1階）
TEL.076-441-9588 FAX.076-441-9952
ホームページ：https://www.toyama-keikyo.jp
Eメール：roumu-soudan@toyama-keikyo.jp

事業活動報告

2024年4月9日～6月10日

(OL)＝オンライン併用開催

	事業名	委員会名	開催日	場所	参加人数
会 議	環境委員会「幹事会」	環 境	4月16日(火)	富山経協・研修室	11名
	理事会		4月17日(水)	富山経協・研修室	10名
	人事・労務政策委員会「幹事会」	人事・労務政策	4月23日(火)	富山経協・研修室	6名
	定時総会		5月23日(木)	富山国際会議場 2階201～204号室	153名
	理事会		5月23日(木)	富山国際会議場 2階205号室	14名
	講演会		5月23日(木)	富山国際会議場 3階メインホール(OL)	270名
講 座 ・ セ ミ ナ ー	営業力強化研修	教 育	4月 9日(火)・10日(水)	富山経協・研修室	20名
	品質管理入門講座<基礎編>	品質管理	4月11日・18日、25日(木) 5月 9日(木)	富山経協・研修室 タワー 111ビル3階スカイホール	28名
	仕事の基本「報連相」セミナー	教 育	5月 8日(水)	タワー 111ビル 4階ギャラリー	62名
	職場リーダー基本コース	教 育	5月14日(火)・15日(水)	タワー 111ビル 4階ギャラリー	60名
	実践しながら学ぶ統計的手法活用講座	品質管理	5月16日(木)、30日(木) 6月 7日(金)	富山経協・研修室	25名
	人事・労務管理セミナー<第1回>	人事・労務政策	5月21日(火)	富山経協・研修室	23名
	ISO14001内部監査員養成講座	環 境	5月28日(火)・29日(水)	富山経協・研修室	42名
	ものづくりと現場改善実践セミナー	品質管理	6月 4日(火)・5日(水)	富山経協・研修室	31名
	コミュニケーション力向上セミナー	教 育	6月 6日(木)	富山経協・研修室	54名

委員会活動

人事・労務政策委員会

■幹事会

4月23日(火)、大門委員長はじめ幹事6名が出席し、富山経協・研修室で開催した。大門委員長挨拶の後、事務局より役員・委員の交代について報告した。

審議に入り、定例委員会の事業活動計画(案)については、第1回は6月14日に見学先を(株)リッチェル本社R&Dセンターとし、昨年同様、教育委員会と合同開催とする。第2回(8月23日)は、講師に

経団連労働政策本部の新田本部長を迎え、「高齢社員のさらなる活躍推進に向けて」と題する講演会および意見交換を実施する。第3回(12月予定)の富山県協力による講演会では、「企業と従業員のウェルビーイング創出事業」の「女性活躍推進コース」を選定する。そして、第4回(来年2月予定)の人材確保に向けた情報交換会では、一昨年および昨年度に引き続き、特定社会保険労務士の森真弓氏を講



師に、グループワークを通じて情報共有を図る。

その他の事業活動計画(案)についても、具体的な内容を審議した。

環境委員会

■幹事会

4月16日(火)、小田委員長はじめ幹事11名が出席して、富山経協・研修室で開催した。

小田委員長の挨拶後、報告事項として、人事異動に伴う委員の交代ならびに2024年度事業計画書の内容について確認した。審議事

項として、①6月「県内企業見学会」の内容、②7月「富山県との情報交換会」の依頼内容、③9月「委員相互の情報交換」の内容と進め方、④10月～11月「県外企業見学会」の見学先、⑤2024年度「環境保全活動」の5つの議案について、2024年度の具体的な



事業活動を協議した。

階層別研修

■ 職場リーダー基本コース

5月14日(火)・15日(水)、60名が参加して、タワー111ビル4階ギャラリーで開催した。本研修は職場リーダー・リーダー候補者を対象に、求められる「仕事と人のマネジメント」と「コミュニケーション」の理論とスキルを学ぶことをねらいとしている。

(公財)日本生産性本部中小企業

診断士の荒川博孝講師は、事前課題を用いて具体的な職場課題の解決に向けた演習に取り組む姿勢を示した上で、①職場リーダーとしての立場と役割、②業務の管理、③コミュニケーション(傾聴力、質問力、プレゼンテーション力)、④協働(チームビルディング、リーダーシップ、フォロワーシップ)について講義した。受講者はグ



ループ演習で意見交換しながら理解を深め、最後に研修での学びや自己課題を明確化した。



参加者NOTES

「職場リーダー基本コース」を受講して

北産運輸株式会社
総務経理部 係長

早川 美和



私は総務経理に所属しているのですが、会社全体をチームとして考えながら受講しました。講義は、荒川先生の実験の経験を取り入れた内容で想像がしやすく、その中で業務に落とし込めるものがありました。

まず、問題解決スキルの向上です。今までは、業務の中で問題が起きた時、表面上解決できれば解決したつもりでいましたが、同じ問題を繰り返さないための、原因

究明と対策立案のスキルが大切と感じました。解決策として、問題を可視化し分析することにより、問題が明確化され具体的な対応策が見出せます。分析方法については、状況に応じた方法を何種類か教えて頂いたのが、実践してみようと思います。

次に、コミュニケーション力です。私が最も不得意とする分野ですが、リーダーには不可欠であり、チームをまとめるにもとても大切

だと思っています。コミュニケーションは、今回のグループワークでもみなさんの課題となっていたように思います。

他者を受け入れ、自己開示をし、自分から相手に好意を持つ。相手の意見を聞き出すための環境作りをする→「共感的態度に基づくコミュニケーションは、誰に対しても同じように接し、みなさんを愛してください」と荒川先生は仰いました。職場の年齢層もバラバラでみんなに受け入れてもらうのは難しいですが、実践してみます。

私の業務はプレイヤーになりがちですが、視点を転換し、職場全体の最適化に向けた意識変革をしていきたいと思いました。

共通

■ ISO14001内部監査員養成講座
＜5月開催＞

5月28日(火)・29日(水)の2日間にわたり、42名が参加して富山経協・研修室で開催した。

この講座は、自社の「環境マネジメントシステム」を公正かつ客観的に評価できる優秀な内部環境監査員の養成を目的に毎年開催しており、企業ニーズの高まりを受け、昨年度より5月・9月の年2回で開催することとした。

講師はインターテック・サーティフィケーション(株)研修部の五味憲一氏が担当し、1日目は内部監査を行う上で必要な監査規格を学ぶ座学を中心に行われた。2日目は、監査の発見事項に対する適不適をグループで判断することや、監査を受ける側と審査側に分かれてロールプレイングを行うなどグループディスカッションを中心に行い、実際の内部監査を想定し効果的な監査の手順・方法について



ポイントを学んだ。最後に修了試験を行い、受講者全員が無事に修了証を手にした。

■仕事の基本『報連相』セミナー

5月8日(水)に62名の新入社員および若手社員が参加して、タワー111ビル4階ギャラリーで開催した。

講師の(株)フォーワン代表取締役羽田野正博氏からまず、会社という組織の一員として「仕事ができるひと」になるために、望ましい仕事の考え方と進め方を理解する

こと、報連相がそのための重要なツールであることを強調。①報告のポイントとしては、情報の整理、TPOに合わせた報告、そして中間報告を忘れないこと、②連絡のポイントとして、状況により連絡手段と内容を使い分け、悪い情報ほど早く伝えること、③相談のポイントとして、5W2Hを整理してから相談する、結果報告が信頼



関係を高めることなどを、事例も参考にしながら学んだ。



参加者NOTES

「仕事の基本『報連相』セミナー」 を受講して

朝日建設株式会社
営業部

高井 宏樹



今回のセミナーにおいて、「報連相」は「仕事ができるひと」になるためのスキル、報連相の基礎とそれぞれのポイントについて学びました。

まず「報連相」には必要な3つの視点があると教わりました。

①自分の視点は、自分の仕事に責任をもち、より良い成果をあげるため、自分の考え方をもって「報連相」をする。

②相手の視点は、相手の立場・視点に立ち、好み・仕事の進め方や個性に応じて、相手に安心してもらうための「報連相」をする。

③目的の視点は、何のための報連相なのか、目的を考え、複数の

手段の中から、相手の目的に照らして自分が手段を選択する。

これら3つの視点で状況によって使い分け、積み重ねることで「仕事ができるひと」になると学びました。私は現状、相手の視点、目的の視点での報連相があまり出来ておりませんので、今後は常に意識し積み重ね、「仕事ができるひと」に近づけるよう努力していきたいです。

「報告」のポイントでは、報告する情報を5W2Hを活用し、要点を整理する。TPOに合わせて報告の手段・方法を使い分ける。中間報告を忘れないようにすることを学びました。

「連絡」のポイントでは、情報共有化のために、素早く、もれなく報告する。悪い情報ほど早く伝えることを学びました。

「相談」のポイントでは、5W2Hを活用し、状況を整理してから相談する。効果的な質問で、情報を共有化する。相談後の結果報告が、信頼関係を高めると学びました。

私はこのセミナーを受けて、特に中間報告の大切さについて学びました。中間報告を適切に行うことで、上司と部下の認識が合っているかを確認でき、ズレていれば作業の途中から修正作業を行うことが出来るだけでなく、周りが助けやすい環境を作れたり、上司が心理的に安心するなど、上司と部下共にメリットがあることを教わりました。今回教わったことを活かし、今後の業務に取り組んでいきたいです。

■コミュニケーション力 向上セミナー

6月6日(木)、54名が参加して富山経協・研修室で開催した。

アイル・インターナショナルの伊槻紀子講師は、現在の自職場の課題を踏まえ、コミュニケーションの重要性として、第一印象の大切さを時代の変化に対応した内容で解説した。グループ演習では、

相手に伝える力や相手を理解するための聴く力、質問する力などのスキルを実習した。受講者は心理学的アプローチを交えた講義とグループワークを中心としたプログラムを通じて、職場での良好な人間関係や信頼関係を構築するためのコミュニケーションの理論とスキルを学び、最後に明日から実行したいことを明確にした。



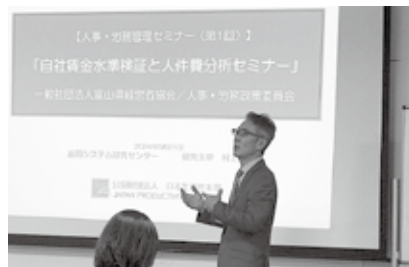
労務管理

■人事・労務管理セミナー(第1回)

5月21日(火)、「自社賃金水準検証と人件費分析セミナー」と題して、人事・労務の管理職および管理担当者を中心に23名が参加し、富山経協・研修室で開催した。

講師の(公財)日本生産性本部雇用システム研究センター研究主幹村上和成氏より、①賃金の基礎的理解、②自社賃金「水準」検証の手

法、③賃金における「生計費」の重要性、④自社賃金支払い能力の検証、⑤春季賃金交渉でのポイントについて、具体事例を交え分かりやすい説明があった。講義中は講師とのキャッチボール形式による質問がいくつも飛び交い、受講者からは「大変有意義なセミナーであった」との評価にあわせ、多くの受講者が「今後、他者へも受講



を推奨したい」といった大好評のセミナーであった。

品質管理

■品質管理入門講座<基礎編>

4月11日(木)から5月9日(木)までの全4日間の日程で、28名が参加して、富山経協・研修室で開催した。

本講座は、初めて品質管理を学ぶ人を対象に、より効果的に改善を進めるために不可欠である「品質管理」の考え方と、問題の発見・解決に役立つQC7つ道具の使い方について学ぶことを目的に毎年開催しており、今回で67回目の

となる。

講師にM&P研究所とやま所長の竹村稔氏を迎え、「品質管理」の考え方とQC7つ道具の使い方について、3日間の日程で講義と演習を通じて学んだ。最終日は会場をタワー111ビル3階スカイホールに移し、総合実習として「紙飛行機を遠くに飛ばそう!」をテーマに、紙飛行機をどうしたら遠くに飛ばすことが出来るかを、3日間の講義で学んだ品質管理手法を



用いて、現状把握から要因解析、対策立案と効果の確認のステップを小集団活動で取り組んだ。最後に修了試験を行い、受講者全員が無事、修了証を手にした。

参加者NOTES

「品質管理入門講座<基礎編>」

を受講して

アイシン新和株式会社
製造部

四日 千晴



QCの基本的な手法やその進め方について詳しく解説いただきました。QCの基本的な手法としては、特性要因図やパレート図、ヒストグラムなど、これらをどのように実際の業務に適用するかについても具体例を交えながら演習を行いました。特に印象的だったのは、他社や他業種からの参加者とグループを組んで討議を行ったセッションです。特性要因図を用い、与えられたテーマに対してQC手法を活用し、問題点の洗い出

しから改善案の策定までを行いました。異なる視点や背景を持つ参加者と意見を交換することで、自分の考え方に新たな発見があり、非常に刺激を受けました。さらに、各QC手法ごとに実際に演習を行ったことも大変有益でした。普段はPCを使って瞬時に作成しているグラフや表も、手作業で一旦から作成する過程を体験することで、その背後にある理論や計算方法、データの取り扱い方について深く理解することができました。

今後の業務においても、より精度の高い品質管理ができるようになったと感じました。

講座全体を通して、普段関わることができない方々に関わることで、新たな発見や考え方に触れることができたことが、私にとって大きな収穫でした。他の業界の視点や問題解決のアプローチを学ぶことで、自分の業務にも応用できるアイデアが生まれました。

この講座を通じて、QCの基本手法の理解が深まり、他業種の方々との交流から新たな知見を得ることができたことは、大変貴重な経験でした。品質管理の重要性を再認識し、日々の業務においても積極的に活用していきたいと感じました。

■実践しながら学ぶ

統計的手法活用講座

5月16日(木)から11月28日(木)までの15日間の日程で、富山経協・研修室で、25名が参加して開講した。

本講座は、品質管理、生産技術、開発の担当スタッフ・技術者を対象に、問題解決に必要な統計的品質管理(SQC)の手法を学ぶとともに、職場の問題をテーマに選定し、講師のカウンセリングを受けながら、学んだ手法を駆使して問

題解決に取り組み、その内容を研究論文にまとめることにより、自己完結能力を高めることを目的に毎年開催しており、今回で68回目となる。

初日の5月16日(木)は、品質管理概論の講義に加え、他企業の受講生と仕事の内容、進め方などについて意見交換をし、交流を図りながら真剣に学んだ。2日目の5月30日(木)は、昨年度の優秀研究論文者であるコーセル(株)の西井渉太氏が模範発表を行った後、受講



者は5つのグループに分かれ、第1回目のカウンセリングとして各自の研究テーマと活動計画について発表し、今後の進め方について講師のアドバイスを受けた。

生産管理

■ものづくりと現場改善

実践セミナー

6月4日(火)・5日(水)、31名が参加して、富山経協・研修室で開催した。

この講座は、生産管理・生産技術・製造部門の管理監督者を対象に、ものづくり現場での改善の考え方や方法、実践スキルを、講義と演習を通して学び、さらに果敢に挑戦するリーダーを養成することを目的に実施している。

講師のM&P研究所代表 棚邊

一雄氏は2日間にわたり、①リーダーとしての役割の再認識、②現場の問題のを見つけ方を学ぶ、③「リーダーの資質」について考える、④学んだ事の整理(発表・講評・決意表明)の4ステップで、受講者の理解度を確認しながら段階を追って講義・指導した。

また、M&P研究所とやま所長竹村稔氏からは、トヨタ生産方式と標準作業の概要、作業分析について講義があり、演習では玩具のレーシングカーの分解・組立やシ



ャープペンシルの分解を通して、改善活動を進めるに当たって必要となる作業時間・設備効率の観測・分析の手法を学んだ。

営業

■営業力強化研修

4月9日(火)・10日(水)、20名が参加して、富山経協・研修室で開催した。

本研修は、経験年数5年未満の営業担当者を対象に、営業の基本的な流れから提案型営業に必要な4つのスキルまでを網羅的に習得することをねらいに開催した。

講師の(株)インソース大西雄一氏は、企業環境が激しく変化する中でビジネスを成功に繋げるためには、潜在している顧客の考えや気

持ちを正しく理解し、実現・解決する「提案力」がますます重要になっているとした上で、1日目は営業活動における基本的な知識と流れについて講義し、営業プロセスについての演習を行いながら実践的に学んだ。

2日目はソリューション提案について、①顧客のビジネスを理解する、②自社が提供できることを認識する、③顧客のニーズを探る、④ソリューションとしての提案内容を導き出すなどの4つのスキル



について、ケーススタディを用いたグループ討議とロールプレイングによる実践的な演習を通じて、さまざまな視点・考え方を学んだ。

会員の動き

(50音順)(敬称略)

■ 代表者の変更 (窓口代表者)

川田建設株式会社 北陸支店

執行役員支店長 林 勉 (前:柳原英克)

JFEミネラル株式会社クロム&リサイクル事業部 富山製造所
所長 川波 俊一 (前:大島健二)

太平株式会社

代表取締役社長 石崎 直人 (前:石崎直樹)

東洋紡株式会社 庄川工場

工場長 中山 直紀 (前:石丸 太)

となみの工業株式会社

代表取締役社長 安土 一成 (前:二川明德)

富山県中小企業団体中央会

会長 廣瀬 宏一 (前:高田順一)

株式会社富山村田製作所

代表取締役社長 舟木 裕史 (前:西田吉宏)

日新火災海上保険株式会社 富山サービス支店

支店長 和泉 竜郎 (前:山田司朗)

日本生命保険相互会社 富山支社

支社長 中嶋 徹 (前:今井孝之)

株式会社日立製作所 北陸支社

支社長 福田 哲生 (前:山村隆彦)

株式会社氷見村田製作所

代表取締役社長 舟木 裕史 (前:西田吉宏)

丸福石油産業株式会社

代表取締役社長 飛騨 芳彦 (前:沖野幸一)

■ 役職の変更 (窓口代表者)

金岡忠商事株式会社

代表取締役相談役 金岡 寛 (前:代表取締役会長)

株式会社廣貫堂

取締役副会長 塩井 保彦 (前:代表取締役会長)

株式会社大和 富山店

取締役店長 吉澤 勉 (前:店長)

株式会社トヨックス

代表取締役会長 中西 誠 (前:代表取締役社長)

富士通Japan株式会社

北陸支社長 大久保 尚 (前:東海北陸支社長)

新会員の紹介

(50音順)(敬称略)

■ オーアイ工業株式会社

所在地 魚津市本江850

代表者 代表取締役社長 相山 雅人

設立 1954年(昭和29年)5月

資本金 8,000万円

従業員 136名(県内136名)

事業内容 靴下製造・販売

■ 昭北ラミネート工業株式会社

所在地 富山市飯野1番地の1

代表者 代表取締役社長 中川 雄介

設立 1951年(昭和26年)4月

資本金 6,300万円

従業員 123名(県内113名)

事業内容 PTPアルミフィルム製造販売、医薬品用各種包装資材
販売、着色・印刷・各種コーティング・ドライラミネート加工
等

■ 株式会社日本空調北陸

所在地 富山市稲荷元町一丁目1番11号

代表者 代表取締役社長 西川 博志

設立 1977年(昭和52年)10月

資本金 3,000万円

従業員 270名(県内213名)

事業内容 管工事業・電気工事業・消防
施設工事業・建築工事業、設備メンテナンス業務・運転
管理業務・太陽光発電システム設計/施工/売電



■ 社名の変更

JFEミネラル株式会社クロム&リサイクル事業部 富山製造所
(前: JFEミネラル株式会社クロム&リサイクル事業部)

東洋紡株式会社庄川工場 (前: 東洋紡株式会社富山事業所)

■ 所在地変更

日本安全産業株式会社

富山市婦中町島本郷1番地2 (前: 富山市安養坊82番地3)

一般財団法人北陸電気保安協会

富山市東田地方町一丁目2番5号 (前: 富山市桜橋通り3番1)



表紙の花
キレンゲショウマ

(富山県中央植物園 園長 中田政司)

日本人による初めての新属新種

昨年のNHK朝の連続テレビ小説「らんまん」は、高知県出身の植物学者、牧野富太郎をモデルにしたもので、日本の植物分類学黎明期が舞台となりました。ドラマでは、四国石鎚山で採集した植物に、東京大学の田邊教授が新属・新種として「キレンゲショウマ」を発表したことが描かれていましたが、これは史実に基づいていて、モデルとなったのは初代植物学教室教授の矢田部良吉博士です。

キレンゲショウマの和名は、レンゲショウマに似て花が黄色であることに由来しますが、日本人が初めて日本の雑誌に新属を発表するにあたって、通常ラテン語で表記される学名に「Kirengeshoma」と日本語の読みを当てたのは、矢田部博士の気概だっ

たのでしよう。

植物園の花はドイツからの里帰り

キレンゲショウマは牧野の時代にはユキノシタ科に分類されていましたが、現在はアジサイ科とされ、1属1種の多年草です。釣鐘型の花の花弁は肉厚で渦巻き状に重なり合い(写真)、独特の風情があります。

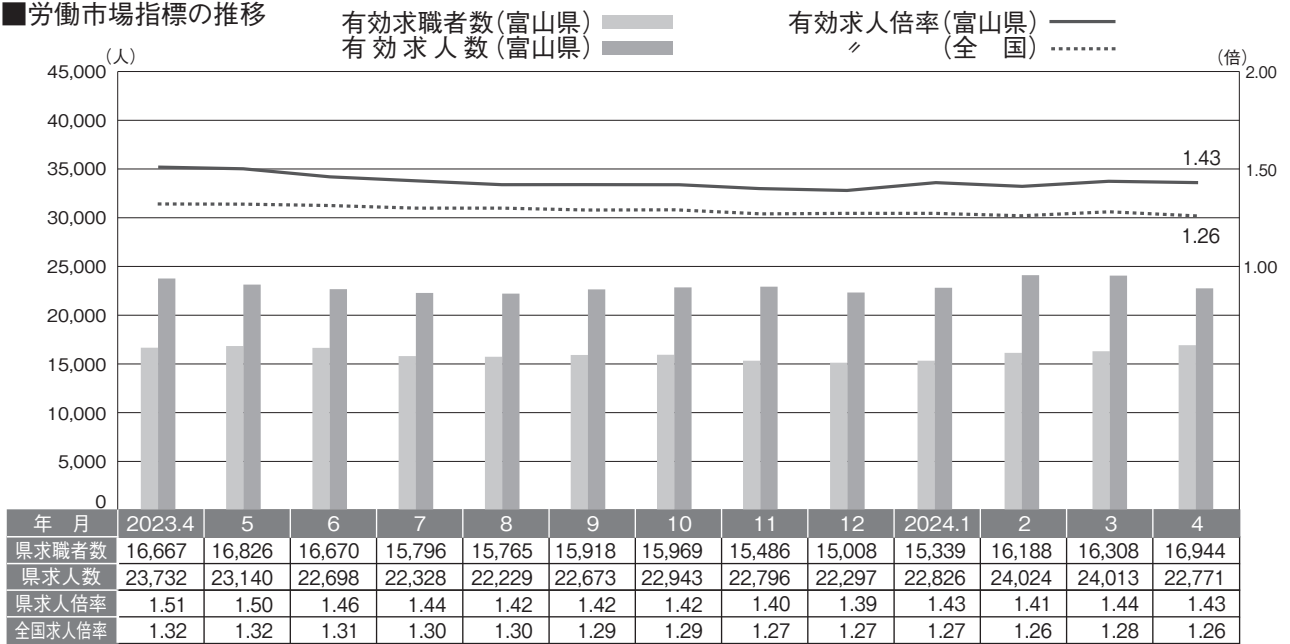
紀伊半島・広島県・四国・九州の限られた場所のみ分布し、国外では朝鮮半島と中国東部にも分布しています。花の美しさと知名度から栽培目的で採取されることに加え、ニホンジカの食害が進み、現在では環境省によって絶滅危惧Ⅱ類に指定されています。

植物園の個体は、約20年前にドイツの植物園との種子交換によって導入した里帰り植物で、高山・絶滅危惧植物室に植栽されています。 正面から見た花 ▶



労働指標

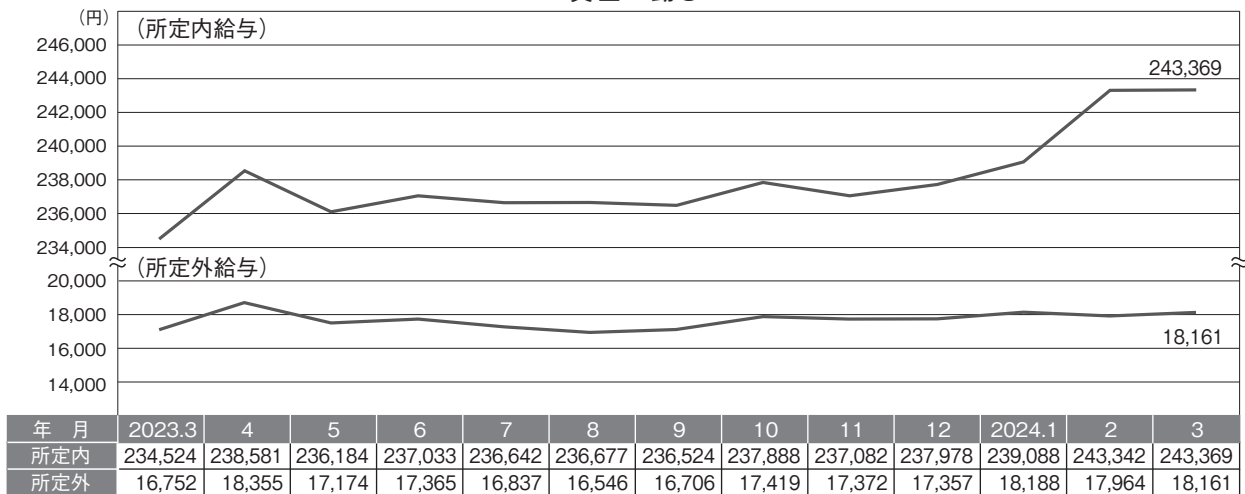
労働市場指標の推移



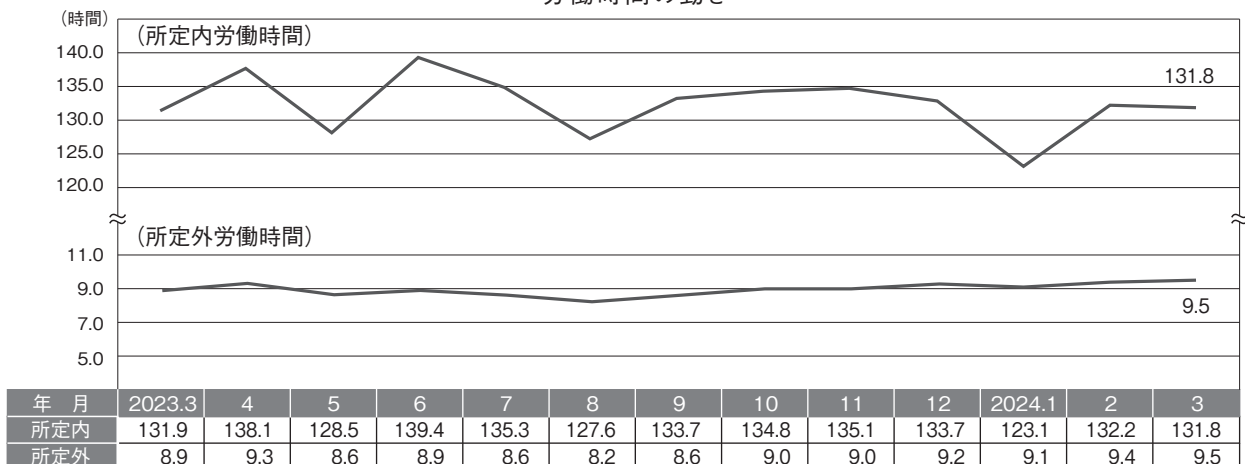
出典：富山労働局「労働市場月報」https://jsite.mhlw.go.jp/toyama-roudoukyoku/jirei_toukei/shokugyou_shoukai/toukei.html
 注）2023年12月以前の有効求人倍率の数値は新季節指数により改定されています。

賃金・労働時間の動き(調査産業計、事業所規模：5人以上)

賃金の動き



労働時間の動き



出典：とやま統計ワールド「毎月勤労統計調査 地方調査月報」<https://www.pref.toyama.jp/sections/1015/index2.html>

7月26日(金) 西部地区会員懇談会

場 所：ホテルニューオータニ高岡 4階 鳳凰

高岡市新横町1番地 電話(0766)26-1111

16:00~17:30 講演会

テーマ：「日本経済の現状と今後の展望」

講師：株式会社マネネ
CEO/経済アナリスト 森永 康平 氏

17:40~19:10 懇親会

事業予定

2024年 6月16日~8月15日

詳しくはホームページ(<https://www.toyama-keikyo.jp/>)
「講座・セミナー案内」をご覧ください。

OL =オンライン併用開催

	開催日	時間	事業名	委員会名	場所
会 議	6月26日(水)	15:00~17:30	経営企画・IT委員会「定例委員会」	経営企画・IT	富山経協・研修室
	7月12日(金)~13日(土)		北陸三県・長野県役員協議会		福井県
	7月16日(火)	15:00~17:10	環境委員会「定例委員会・情報交換会」	環 境	富山経協・研修室 OL
	7月24日(水)	14:00~16:00	品質管理委員会「定例委員会・見学会」	品質管理	立山科学グループ
	7月26日(金)	16:00~19:10	西部地区会員懇談会 上記「おしらせ」参照		ホテルニューオータニ高岡
	7月29日(月)	16:30~17:30	総務交流委員会「定例委員会」	総務交流	富山電気ビル
見 学 会	7月 9日(火)	14:00~16:00	環境委員会「県内企業見学会」	環 境	(株)富山村田製作所
講 座 ・ セ ミ ナ ー	6月18日(火)・19日(水)	9:30~16:30	管理職基礎コース	教 育	富山経協・研修室
	6月20日(木)	13:30~16:00	労働法実務講座(第1回)	人事・労務政策	富山経協・研修室 OL
	6月21日(金) 7月 4日(木)・11日(木) 8月 1日(木)	9:00~17:00	実践しながら学ぶ統計的手法活用講座	品質管理	富山経協・研修室
	7月 2日(火)・3日(水)	9:30~16:30	職場リーダー入門コース【A日程】	教 育	タワー111ビル 3階スカイホール
	7月 9日(火)・10日(水)	9:30~16:30	職場リーダー入門コース【B日程】	教 育	タワー111ビル 4階ギャラリー
	7月17日(水)	9:30~16:00	財務会計の基礎講座	教 育	富山経協・研修室 OL
	7月18日(木)~20日(土)	9:00~15:00	部課長実践講座	品質管理	インテック大山研修センター
	7月23日(火)	9:30~16:30	なぜなぜ分析活用セミナー(基本コース)	品質管理	富山経協・研修室
	7月24日(水)	9:30~16:30	会議の生産性を向上する ビジネス・ファシリテーター養成講座	教 育	富山経協・研修室
	7月30日(火)	9:30~16:30	なぜなぜ分析活用セミナー(基本コース) <追加開催>	品質管理	富山経協・研修室
	8月 6日(火)	9:30~17:00	現場の技術・技能伝承支援研修	品質管理	富山経協・研修室
8月 8日(木)	9:30~16:30	なぜなぜ分析活用セミナー(ブラッシュアップコース)	品質管理	富山経協・研修室	

「富山経協」vol.882

2024年(令和6年)6月号
2024年6月15日発行(隔月発行)

一般社団法人 富山県経営者協会

〒930-0856 富山市牛島新町5番5号(タワー111ビル 1階)
TEL (076) 441-9588 FAX (076) 441-9952ホームページ <https://www.toyama-keikyo.jp/>
Eメール info@toyama-keikyo.jp